

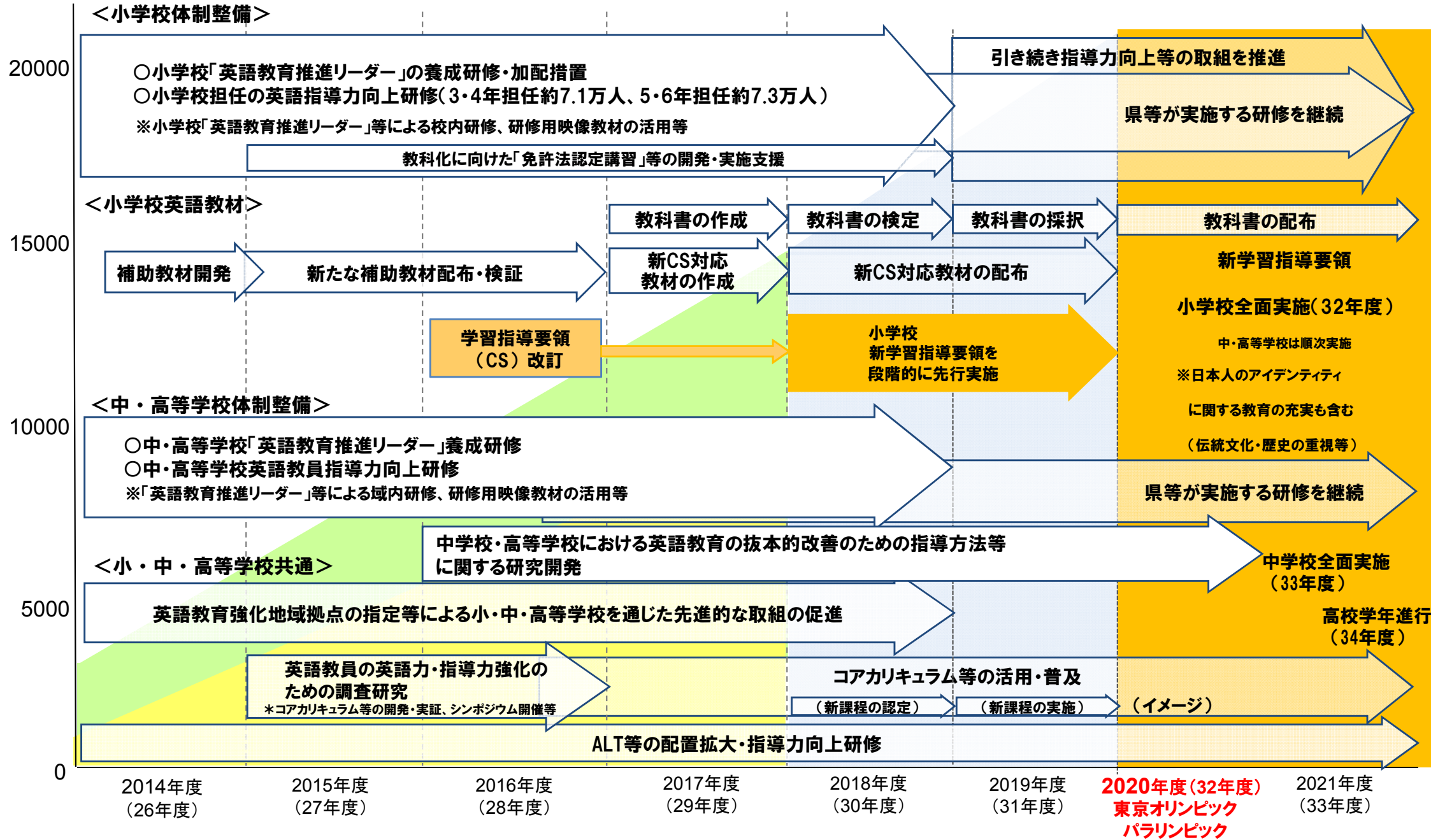
英語教育「コア・カリキュラム」について

- 今後の英語教育の在り方について（P1）
 - 中央教育審議会教育課程部会外国語ワーキンググループ
における取りまとめの概要（案） 抜粋（P8）
 - 平成28年度英語教員の英語力・指導力強化のための
調査研究事業等に関する資料（P9）
 - コア・カリキュラム 構造図（案）（P15）
（「研修」「養成」／「小学校」「中・高等学校」）
- ※平成27年度 英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究事業 試案
- 小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業(P19)

今後の英語教育の在り方について

グローバル化に対応した英語教育改革実施計画スケジュール(イメージ)

(小学校数)



国が定める標準授業時数に上乗せして実施する小学校

研究開発学校・教育課程特例校(現行の教育課程の基準によらない)

新学習指導要領(小学校英語)の先行実施

改革1 国が示す教育目標・内容の改善

- 小・中・高等学校の学びを円滑に接続させる、「英語を使って何ができるようになるか」という観点から一貫した教育目標を示す
- ・小学校3・4年生：活動型を開始し、音声に慣れ親しむ
- ・小学校5・6年生：身近なことについて基本的表現によって4技能を積極的に使える英語力を身に付ける
学習の系統性を持たせるため教科として行うことが求められる
- ・中学校：授業は英語で行うことを基本とし、互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を重視
- ・高等学校：授業を英語で行うことを基本とし、言語活動を高度化（幅広い話題について発表、討論、交渉等）

改革2 学校における指導・評価

- ・英語を使って何ができるようになるかという観点からCAN-DO形式の学習到達目標に基づく指導と学習評価

改革3 高等学校・大学の英語力の評価及び入学者選抜の改善

- ・入学者選抜における英語力の測定において、4技能のコミュニケーション能力を適切に評価
- ・4技能を測定する資格・検定試験の活用促進。学校、専門家、資格・試験団体等が参画する協議会を設置し
必要な情報発信、指針づくり(学習指導要領との関係、換算方法、受験料・場所、適正・公正な実施体制等)等

改革4 教科書・教材の改善

- ・学習指導要領に沿った教科書検定
- ・音声や映像を含めたデジタル教科書・教材の検討

改革5 学校における指導体制の充実

- ・現職教員の研修(大学・外部専門機関との連携による地域の中心となる「英語教育推進リーダー」等の養成)
- ・教員養成(カリキュラムの開発・改善、「免許法認定講習」開設支援、等)、英語指導力のある教員採用
- ・外部人材の活用促進(ALT、非常勤講師、特別免許状の活用)

外国語教育に関する現状について

外国語教育の現状・課題

学年が上がるにつれて英語の学習意欲に課題。4技能、特に発信能力(話す、書く)に課題。

- ・小学校5,6年生の72.3%、中学1年生の60.2%が「英語の授業が好き」と回答。【H26年度小学校外国語活動実施状況調査】
 - ・高校3年生の58.3%が「英語の学習が好きではない」と回答。【H26年度英語教育改善のための英語力調査】
 - ・生徒の英語力について、4技能全般、特に「話すこと」と「書くこと」の能力が課題。高校3年生はCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠) A1(英検3~5級程度)の上位~A2(英検準2級程度)の下位レベルが多い。【H26年度英語教育改善のための英語力調査】
- (参考)「第2期教育振興基本計画」に掲げる成果目標
中学校卒業段階:英検3級程度以上、高等学校卒業段階:英検準2級~2級程度以上を達成している中高生の割合:50%。
達成状況:中学3年生:約34.7%、高校3年生:約31.9%

小学校高学年で「読む」「書く」も含めた言語活動への知的要求が高まっている 校種間の接続が十分とは言えない

- ・中学1年生の約8割が、小学校で「英単語・文を読む」「英単語・文を書く」ことをもってしておきかたと回答。【H26年度小学校外国語活動実施状況調査】
- ・小中連携したカリキュラムの作成に取り組んでいる中学校区の割合:13.1%
- ・中高連携に取り組んでいる学校の割合:31.3% 【H26年度英語教育実施状況調査】

自分の意見や考えを話したり書いたりすることができていると考える生徒の割合が低く、また そのような指導をしていると考える教員の割合も低い

- ・「エッセイなど、ある程度まとまりのある文章を書くことができている、ほぼできている」と回答した中学2年生の割合:33.6%
- ・「ディベートやディスカッションをすることができている、ほぼできている」と回答した中学2年生の割合:20.7%
- ・授業における言語活動の指導状況について、「よく行う、時々行う」と回答した中学校外国語科担当教員の割合:スピーチ:56.6%、プレゼンテーションやスキット(寸劇):36.0%、ディベート、ディスカッション:34.7%

【H26年度小学校外国語活動実施状況調査】

「読んだ内容に基づいて書く」など技能統合型の言語活動を行っている生徒ほどスコアが高い

- ・4技能を効果的に活用した技能統合型の言語活動が十分ではない。特に、聞いたり読んだりしたことに基づいて英語で話し合ったり意見交換をしたりする経験(35.2%)や、ディベートやディスカッションの経験(17.3%)があると同等した高校3年生の割合は少ない。一方、試験結果が高い生徒(高校3年生)ほど、技能統合型の言語活動を行っている割合が高い。【H26年度英語教育改善のための英語力調査】 ()内の数値は、高校3年生が第2学年のときに「よくしていたと思う、どちらかといえばしていたと思う」と回答した割合。

外国語教育において育成すべき資質・能力（たたき台）

知識・技能

外国語の特徴やきまりに関する理解
・音声、語彙・表現、文法の知識

言語の働き、役割に関する理解
(例)

・コミュニケーションを円滑にする
(繰り返す, 言い換える 等)

・気持ちを伝える

(感謝する, 謝る 等)

・情報を伝える

(説明する, 理由を述べる 等)

・考えや意図を伝える

(賛成・反対する, 主張する 等)

・相手の行動を促す

(依頼する, 許可する 等)

各言語活動に応じた言語の働き

外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」を活用した実際のコミュニケーションにおいて運用する技能

など

思考力・判断力・表現力等

外国語で、情報や考えなどを表現し伝え合う力

コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、幅広い話題について、外国語を聞いたり読んだりして情報や考えなどを的確に理解するコミュニケーション力

コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、幅広い話題について、外国語を話したり書いたりして情報や考えなどを適切に表現するコミュニケーション力

外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、外国語で話したり書いたりして情報や考えなどの概要・詳細・意図を伝え合うコミュニケーション力

考えの形成、整理

目的等に応じて、外国語の情報を選択したり抽出したりする力

知識や得た情報を活用して、自分の意見や考えを外国語で形成・整理・再構築する力

形成・整理・再構築した自分の意見や考えを、実際に外国語で表現する力

など

学びに向かう力、人間性等

外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度

自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度

他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、情報や考えなどを外国語で話したり書いたりして表現しようとする態度

外国語を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現するとともに他者を理解するなど互いの存在について理解を深め、尊重しようとする態度

など

小・中・高等学校を通じた外国語教育のイメージ（案）

【高等学校】

◎外国語の見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しを持って目的を実現するための聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる総合的な言語活動を行うことを通して、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりすることができる資質・能力を、次のとおり育成する。

- ①外国語を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことを用いた実際のコミュニケーションの場面において活用できる技能を身に付けるようにする。
- ②外国語でコミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、社会や世界、他者との関わりの中での幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を的確に理解したり、それらを活用して適切に表現し伝え合ったりすることができる力を養う。
- ③外国語やその背景にある文化の多様性を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

➤ 目標を踏まえた具体的な指標形式の目標を提示

【中学校】

◎外国語の見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しを持って目的を実現するための聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる総合的な言語活動を行うことを通して、簡単な情報や考えなどを外国語で理解したり表現したり伝え合ったりすることができる資質・能力を、次のとおり育成する。

- ①外国語を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことを用いた実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な技能を身に付けるようにする。
- ②外国語でコミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、日常的・社会的で具体的な話題について理解したり表現したり、簡単な情報や考えなどを交換するなどして伝え合ったりすることができる力を養う。
- ③外国語やその背景にある文化の多様性を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

➤ 目標を踏まえた具体的な指標形式の目標を提示

【小学校高学年】

◎外国語の見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しを持って目的を実現するための言語活動を通して、聞いたり話したりするとともに、読んだり書いたりすることに慣れ親しませ、コミュニケーション能力の基礎となる資質・能力を、次のとおり育成する。

- ①外国語を通じて、言語の働きや役割などを理解し、読んだり書いたりして外国語の文字、単語、語順などに慣れ親しませるとともに、外国語の音声、語彙・表現を聞いたり話したりする実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な技能を身に付けるようにする。
- ②外国語を通じて、身近で簡単なことについて、文字、単語などを読んだり語順に気付きながら書いたりするとともに、聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う基礎的な力を養う。
- ③外国語やその背景にある文化の多様性を尊重し、相手に配慮しながら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

➤ 目標を踏まえた具体的な指標形式の目標を提示

【小学校中学年】

◎外国語の見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しを持って目的を実現するための活動を通して、聞いたり話したりすることに慣れ親しませ、コミュニケーション能力の素地となる資質・能力を、次のとおり育成する。

- ①外国語を用いた体験的な活動を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語の音声や語順等の違い等に気付いた上で、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませるようにする。
- ②外国語を通じて、身近で簡単なことについて、聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- ③外国語を通じて、言語やその背景にある文化の多様性を尊重し、相手に配慮しながら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

➤ 目標を踏まえた具体的な指標形式の目標を提示

高等学校基礎学力テスト
(仮称)

改善のための
PDCA
サイクル

全国学力・学習状況調査

改善のための
PDCA
サイクル

「外国語」等における小・中・高等学校を通じた国の指標形式の目標（イメージ）たたき台

複数の力を統合的に扱う言語活動を通して求められる英語力を身に付ける

校種	CEFR レベル	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
高等学校	B2	<ul style="list-style-type: none"> 母語話者同士による多様な話題の長い会話を聞いて、概要や要点を理解できるようにする。 身近な話題に関する複雑な流れの議論を聞いて、話の展開を理解できるようにする。 自然な速さで話される時事問題や社会問題に関する長い説明を聞いて、概要や要点を理解できるようにする。 ある程度知識のある社会問題や時事問題に関するラジオ番組やテレビ番組を視聴して、概要や要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 関心のある分野の記事や資料から、必要な情報を読み取ることができるようにする。 興味のある現代小説や随筆を読んで、概要を理解することができるようにする。 時事問題や社会問題に関する記事やレポート、資料を読んで、概要や要点、筆者の姿勢や視点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い話題に関する会話に参加し、情報や自分の意見などを適切かつ流暢に表現することができるようにする。 知識のある時事問題や社会問題について、幅広い表現を用いて議論することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い話題について、即興で、説明したり自分の考えや気持ちなどを話したりすることができるようにする。 幅広い分野のテーマについて、明瞭かつ詳細な説明をすることができる。 多様な考え方ができる時事問題や社会問題について、様々な見方の長所・短所を示すとともに、自分の意見を幅広い表現を用いて論理的に説明することができるようにする。 聴衆の反応に応じて、発表の内容や方法を調整することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 関心のある分野のテーマについて、事実や情報などを明確且つ詳細に伝える説明文を書くことができるようにする。 時事問題や社会問題など幅広い話題に関する記事や資料を読んで、その概要や要点を書いてまとめることができるようにする。 時事問題や社会問題など幅広い話題について、得た情報を活用しながら、自分の意見やその理由を論理的に書くことができるようにする。 Eメール、エッセイ、レポートなどを、それぞれの用途に合った文体で書くことができるようにする。
	B1	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題や知識のある社会的な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができるようにする。 比較的ゆっくりはっきりと話されれば、時事問題や社会問題に関する短い平易な説明を聞いて、要点を理解することができるようにする。 比較的ゆっくりはっきりと話されれば、馴染みのある話題を扱ったラジオ番組やテレビ番組を視聴して、要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題に関する比較的短い記事やレポート、資料から、必要な情報を読み取ることができるようにする。 短い物語を読んで、あらすじを理解することができるようにする。 社会的な話題に関する短い会話や説明を読んで、概要や要点を理解できるようにする。 英語学習を目的として書かれた記事やレポートを読んで、概要や要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共の場所（店、駅など）において、自分の問題を説明し、解決することができるようにする。 身近な話題や興味関心のある事柄について、準備をしないで会話に参加することができるようにする。 身近な話題や知識のある話題について、簡単な英語を用いて情報や意見を交換することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題や関心のある事柄について、即興で説明することができるようにする。 身近な話題や関心のある事柄について、まとまりのある内容を話すことができるようにする。 関心のある分野のテーマに関する記事やレポート、資料の概要や要点を説明することができるようにする。 知識のある時事問題や社会問題について、内容を具体的に説明するとともに、自分の意見を加えて話すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験や身近な事柄について、複数のパラグラフから成る説明文を書くことができるようにする。 関心のある分野のテーマに関する記事や資料を読んで、その概要や要点を書いてまとめることができるようにする。 関心のある分野のテーマについて、まとまりのある文章で具体的に説明するとともに、自分の意見やその理由を加えて書くことができるようにする。
	A2	<ul style="list-style-type: none"> 短い簡単なメッセージやアナウンスを聞いて、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 身近な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができるようにする。 ゆっくりはっきりと話されれば、身近な事柄に関する短い説明の要点を理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において身の回りにある短い平易なテキストから、必要な情報を読み取ることができるようにする。 平易な英語で書かれた短い物語を読んで、あらすじを理解できるようにする。 身近な話題に関して平易な英語で書かれた短い説明や手紙を読んで、概要や要点を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやりとりをすることができるようにする。 身近な話題や興味関心のある事柄について、ある程度準備をすれば、会話に参加することができるようにする。 身近な話題について、簡単な英語を用いて簡単な意見交換をすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 身近な話題や関心のある事柄について、簡単な説明をすることができるようにする。 身近な話題について、自分の意見やその理由を簡単に話すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が必要とする事柄について、短い簡単なメモやメッセージなどを書くことができるようにする。 身近な事柄について、簡単な語句や表現を用いて、短い説明文を書くことができるようにする。 聞いたり読んだりした内容について、簡単な語句や表現を用いて、自分の意見や感想を書くことができるようにする。
中学校	A1	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や簡単な指示を聞いて理解することができるようにする。 日常生活において必要となる基本的な情報を聞き取ることができるようにする。 ゆっくりはっきりと話されれば、身の回りの事柄に関する平易でごく短い会話や説明を、視覚情報などを参考にしながら理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において身の回りにある英語の中の語句や単純な文を理解できるようにする。 平易な英語で書かれたごく短い物語を読んで、視覚情報などを参考にしながら、あらすじを理解することができるようにする。 身の回りの事柄に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読んで、視覚情報などを参考にしながら、概要を理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の発話を理解できない場合など、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができるようにする。 相手のサポート（ゆっくり話す、繰り返す、言い換える、自分が言いたいことを表現するのに助け船をだしてくれる など）があれば、ごく身近な話題について、簡単な表現を使って質疑応答をすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な語句や文を用いて、自分について話すことができるようにする。 日常生活において必要となる基本的な情報を伝えることができるようにする。 ごく身近な事柄や出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に関するごく限られた情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。 ごく身近な事柄について、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。
	(Pre-A1)	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの発音を聞いて、どの文字であるかがわかるようにする。 挨拶や短いごく簡単な指示を聞いて理解することができるようにする。 ゆっくりはっきりと、繰り返し話されれば、自分に関することや身近で具体的な事柄を表わすごく簡単な語句や文を聞き取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ごく身近にあるアルファベットの文字を識別し、発音することができるようにする。 音声で十分に慣れ親しんだ、ごく身近で具体的な事柄を表わす単語を見て、その意味を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶やごく短い簡単な指示に回答することができるようにする。 相手のサポート（ゆっくり話す、繰り返す、言い換える、自分が言いたいことを表現するのに助け船をだしてくれる など）があれば、自分に関することについてごく簡単な質問に答えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 定型表現を用いて、簡単な挨拶をすることができるようにする。 自分や身の回りの物事に関するごく限られたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を持ってアルファベットの大文字と小文字を活字体で書くことができるようにする。 例文を参考にしながら、音声などで十分慣れ親しんだ語句や文を書き写すことができるようにする。
小学校						

※CEFRとは、シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集のために、透明性が高く分かりやすく参照できるものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会（Council of Europe）が発表。